

◆HTML メール送信

投稿：2018/12/10

HTML でメールを送る「mailto:」の使い方と注意点まとめ

<https://webliker.info/99276/>

web ページでメーラーを起動させる mailto。現在はあまり使われていないようですが一定数の需要はまだあるように思います。

そこで改めて mailto:の正しい使い方といくつかの注意点とその解決方法を総まとめして解説していきます。

記事の目次

「mailto:」の使い方

複数の項目を設定する場合

日本語の文字化け対策

「mailto:」は非推奨？

メールと web フォームの比較

Google フォームを使用する

mailto でユーザービリティを高める工夫

リンクテキストをメールアドレスにしておく

入力欄を作りユーザーの負担を減らす

おまけ：mailto で起動するメーラーを Gmail に設定する方法

記事でサンプルのメールアドレスとして使用する「info@sample.com」は架空のメールアドレスです。メールは送れないので注意してください。

SMS を送信させる方法もあるよ！

メッセージを送信させたいならメールだけではなくて、「SMS（ショートメッセージ）」を送信させる方法もあるんだ。詳しくはこちらで解説しているよ！「SMS 送信を設定する方法」

「mailto:」の使い方

html

```
<a href="mailto:送信先メールアドレス"></a>
```

info@sample.com へメールする

a の href 属性に mailto:メールアドレスという形式で記述します。

基本はこれだけでメールを送ることができますが細かな設定をしたい場合は以下の項目を mailto:メールアドレス?項目名という形式で「?」でつなぎます。

件名 subject

html

メール起動

本文 body

html

メール起動

CC CC（複数のメールアドレスを送信先を設定する）

html

メール起動

BCC BCC（宛先を伏せて複数の送信先を設定する）

html

メール起動

本文を改行 %0d%0a

html

メール起動

本文に半角スペース %20

html

メール起動

CC や BCC に複数のメールアドレスを設定したい場合はメールアドレスを「,（カンマ）」で繋ぐことで設定可能です。

複数の項目を設定する場合

件名と本文、CC など複数の項目を設定したい場合は以下のように「&（&）」で繋がります。

html

メール起動

必ず各項目名のあとに「=（イコール）」を入れて内容を記入してください。

日本語の文字化け対策

本文に日本語を入れるとユーザーの環境によっては文字化けしてしまうことがあります。文字化けは web に詳しくないユーザーにとってセキュリティの不安感を与えてしまうのでしっかり対応しましょう。文字化けを防ぐ簡単な方法として「日本語文字列のエンコード」があります。

文字列のエンコードは「URL エンコード・デコード | 日本語 URL をサクッと変換」など簡単に行えるサービスが数多くあります。

日本語をエンコードする

変換したコードを body に設定して完了です。これで文字化け対策はバッチリです。

html

<a

href="mailto:info@example.com?body=web%E3%83%9A%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%81%8B%E3%82%89%E3%83%A1%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%82%92%E9%80%81%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%99%E3%80%82%0D%0A%E4%BB%A5%E4%B8%8B%E3%81%AE%E5%86%85%E5%AE%B9%E3%82%92%E5%9F%8B%E3%82%81%E3%81%A6%E9%80%81%E4%BF%A1%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%

google フォーム

web フォームをつくるのはどうしても難しいという方はこちらのサービスを活用するのもアリでしょう。

さて、それでも「mailto:を使いたい!」という人のためにユーザービリティを高める工夫を提案します。最低限これくらいは抑えておくとユーザーのストレスも軽減できるはずです。

info@sample.com

入力欄を作りユーザーの負担を減らす

例えばメールで「名前」「電話番号」「住所」を記入して送って欲しい場合に、「名前と電話番号と住所をそれぞれ記入して送信してください。」というだけではユーザーの負担が大きいですよね。

<a

[illegible]

入力欄を記入することで入力する内容がわかりやすい

このようにあらかじめ入力欄を本文に用意しておけばユーザーも何を入力すればいいかわかりやすいので、ストレスを感じにくくすることができます。

もちろん本文のエンコードも必須です。

ユーザーのあなたがメーラーが起動するリンクを押した時に起動するメールを Gmail に設定する方法をおまけで紹介します。

1

アドレスバーのアイコンをクリック

アドレスバーの「ブックマークアイコン」の隣に「ひし形のアイコン」があるのでそちらをクリック。

2

すべてのメールを mail.gmail.com で開く

「mail.google.com で開きますか？」と聞かれるので「許可」を選択して「完了」をクリック。

これでデフォルトで Gmail が開くようになります。

この記事を書いた人

web 兄さん

web デザイナー / デベロッパー

web 関連の勉強をしているみんなのために「とにかくわかりやすい記事」にこだわって web スキルの情報を発信しています。フリーランスでデザイン・コーディング・web マーケティング(SEO)と web 全般のお仕事をしています。